

1. 研究の名称

若年者自然気胸に対し切除されたブラの病理形態学的検討

2. 研究の対象

2017年から2025年に当院呼吸器科にてブラ切除術を受けられた20歳未満、および50歳以上の患者さん

3. 研究期間

倫理審査委員会承認後から2026年12月31日まで（予定）

4. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

2017 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日

5. 研究目的

従来健康な人に急な胸部の痛みや呼吸困難を生じる自然気胸は、痩せ型、高長身、若年男性に発症することが多く、胸部外科医が扱う疾患の中でも最も頻度の高いもののひとつですが、その成因はよくわかっていません。肺を覆う胸膜の水ぶくれの様な“ブラ”の破綻が主たる要因とされており、一般的には胸腔鏡下ブラ切除術が行われます。しかし、どの様にブラが形成されるのか、なぜブラが破綻するのか、さらに本当にブラの破綻が気胸の原因であるのかも未だ解決されていません。切除された“ブラ”を顕微鏡で詳細に観察し、気胸との関連性を解明することは特発性自然気胸の治療や再発防止につながります

6. 研究方法

呼吸器外科で手術された“ブラ”を病理医が顕微鏡で観察し、分析します。また呼吸器外科および呼吸器内科で患者さんの情報を集めて検討します。

7. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、既往歴、身長、体重、BMI、喫煙歴、手術情報、放射線画像、病理組織標本

8. 情報の保存・保護

この研究で得た情報は厳重に管理し学術目的のみで利用します。また得られた情報は統計として処理・解析しますので個人が特定されることはありません。本研究参加者以外の第三者に個人情報流出することはありません。患者さんのプライバシーは厳重に保護されることをお約束します。

10. 利益相反

本研究に関して、会社や個人との利益相反はありません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

この研究にご自身のデータが使用されることを拒否される場合は、下記の問い合わせ先に連絡ください。たとえ協力を拒否されても、不利益になることはありません。しかし、拒否のお申し出があった時点で、す

でに研究結果が論文などで公表されていた場合には、研究結果を破棄できないことがあります。この場合でも個人が特定されることはありませんので個人情報保護されます。

12. お問い合わせ先

住 所：〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47

電 話：078-261-6711

担当者：病理診断センター センター長 大林千穂